

ひたちなか市 自治会連合会だより

第66号
発行日/2019年8月25日
発行者/ひたちなか市自治会連合会
広報委員会
(事務局:ひたちなか市市民活動課)
TEL 273-0111

自治会の資源回収にご協力を！

自治会が実施している資源回収事業は、資源の有効活用及びごみの減量化の推進を図るため、循環型社会への第一歩として行われています。

ダンボールや新聞紙、空き瓶、空き缶、ペットボトルなどの資源物を集める月2回の資源回収。回収場所に集められた資源物の分別などは自治会が協力して行っています。

ところで、各自治会の回収資源物の総量により決定した金額が、自治会等資源回収事業補助金として、市から自治会へ交付されていることをご存知でしょうか？

これらの補助金は所属する自治会の貴重な財源となり、夏祭りや運動会など各種事業の運営支援に活用されています。

より多くの資源物を自治会の資源回収に集めることで、最終的に自治会へ還元され、自治会の行うイベントや地域の防犯・防災活動等、地域活動の活発化にもつながっていきます。

昨今、資源回収は近隣のスーパーなどでも行っていますが、所属している自治会に目を向けて、資源回収に出してみませんか？

田彦東自治会の資源回収の様子。当番の同自治会会員は「もっと自治会の資源回収に積極的に出してほしい」と言っていました。



ひたちなか市自治会連合会総会

平成31年度自治会連合会の総会が、4月23日（火）ホテルクリスタルパレスで開催されました。

総会の冒頭、連合会の坂井副会長と来賓の青柳ひたちなか警察署長からあいさつがありました。

議事では、平成30年度の事業報告と決算報告がいずれも異議なく承認され、平成31年度の事業計画と予算についても慎重審議のうえ、原案通り議決されました。役員には、会長に坂井久彦氏（大成町自治会）、副会長に古川正一氏（高場南自治会）、藤咲武夫氏（田彦西自治会）、成瀬福次氏（平磯自治会）が選任されました。

議事終了後、連絡事項の説明、大谷市長から市政協力員の委嘱及び退任自治会長への感謝状贈呈等が行われ閉会しました。

自治会連合会は、住民自治の進展と市政の発展に寄与することを目的に活動しています。



新任自治会長研修会

5月17日(金)



佐和駅前自治会
会長 西野 知行

子育て世帯と高齢者世帯は接点がなく、仕事中心の世帯も地域から抜け落ちてきています。ここに暮らしていても、以前には近所のお店での買い物や最寄りのバス停、駅で、ご近所が顔を合わせているという接点がありました。マイカーが普及し、郊外に大型商業施設ができると、商店街は衰退し、地区の行事も少なくなり、住民同士が自然にふれあう交流の接点が次第に少なくなりました。結果、消防団、PTA、自治会役員のなり手がなく苦勞しています。

しかし運動会、お祭り等のふれあいの中からコミュニケーションを通じて仲間を作ることができれば、コミュニティの基盤をなす自治会の活性化を進めることができると思います。



七丁目自治会
会長 梅原 進

住み良い地域社会づくりという自治会活動の目的と市行政各部門との密接な関係が今回の研修で改めて理解できました。参加の自治会長に聞くと、会員の高齢化は別として役員の固定化と地域住民の交流の場や機会の少なさに悩んでいました。当自治会では3年前から「元気アップ体操」を立ち上げ、毎月2回30人前後の会員が体操に励んでいます。昨年「ふれあいサロン」を開設し、住民の誰もが気軽に集いお茶しながらゆったりした時間を過ごせる場として15人前後の人が月1回楽しんでます。

役員スタッフの更新と魅力のある事業展開が組織の充実に繋がるものと考えています。

新任自治会長紹介

下記の方々が新たに自治会長に就任しました。令和元年度（敬称略）

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| ● 櫻木 幸男（勝田駅前南） | ● 西宮 秀樹（青葉・石川） | ● 大貫 英次（勝倉） |
| ● 川瀬 正紀（笹野） | ● 関口 勝夫（金上） | ● 海老原 積（津田第二） |
| ● 飯島 雅夫（本郷台） | ● 佐藤 公一（佐和） | ● 鹿志村岩根（稲田） |
| ● 倉田 勇一（上高場） | ● 西野 知行（佐和駅前） | ● 小澤 敏克（東大島） |
| ● 内田 隆志（はしかべ） | ● 布施 隆司（湊本町） | ● 笹島 豊（和田町） |
| ● 梅原 進（七丁目） | ● 五十嵐洋一（牛久保町） | ● 阿部 勝雄（殿山町） |
| ● 岡田 宣捷（龍之口町） | | |

家庭ごみの戸別訪問収集事業

自治運営研修視察 7/2日(火)
福島県福島市

今回訪れた福島市は、阿武隈川と荒川の合流点に形成された福島盆地に位置し、気候も寒暖の差が激しく、数多くの果物の栽培に適した町でもあります。研修では、市の環境部ごみ減量推進課から「ふれあい訪問収集事業」について説明していただきました。家庭ごみを集積場まで持ち出す事が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、市職員が戸別に訪問して収集、併せて安否確認を行う事業です。現在1,000世帯を訪問し、個人情報やプライバシー性に慎重に対応する必要から市直営事業として、職員23人、収集車両10台、事業費は1億7600万円で実施しているとの説明を受けました。



高齢化問題が一層深刻化している今、自治体によるサポート体制は喫緊の課題です。人手や予算の確保など難しい面もあり、支援のあり方については、当連合会としても課題と解決策を検証していきたいと思っています。

地域のつながりってなんだろう？

近ごろ自治会への未加入の方、脱会される方が増えています。また子供会の加入率も下がっていると言聞き及んでいます。それらへの未加入は

● 経済的なメリット・デメリットのみの考え方

● わずらわしいことには関わり合いたくない
● 高齢となり住んでいる地域における役割が担えない

など、それぞれの家庭の事情や個人の考え方によると思います。

自治会へ加入していないから、地域との関係が希薄であるとは早計に言うことはできませんが、日常生活をする上で家庭内のごみの処分や防犯灯の設置・維持費の負担など、地域と何らかの関わり合いを持たなければならぬと思います。

また、いざというときや子どもの見守りなど頼りになるのは、遠く離れて暮らす親類よりも、地域の方という意識を持つことは大切なことと思います。

自治会としては、未加入者に対する広報活動も今までは違う方法で行わなくてはならないでしょうし、高齢となり脱会を余儀なくされる方への配慮も必要なことだと思います。

向こう三軒両隣、他者への気遣い・思いやりの心・お互い様の気持ちなど、自分の生活は周りの方々によって成り立っているとの気持ちがあれば、地域の方とのつながりも太くなると思うのですが、いかがでしょうか。

自治会(長)の活動報告

待望の堀口公園が完成

..... 計画時点から住民参加

待望の公園が、堀口に完成しました。

堀口地域は、宅地分譲が進み、新たに居を構える方が増えています。幼児から小学生の子どもも増え、お母さん方から、公園設置の要望がありました。自治会としても、子どもたちが、安心・安全に遊ぶ公園の必要性は、以前から感じていました。しかし、市は、土地区画整理事業の中で、公園の整備をする方針でしたので、あきらめていました。

今つくらないと、宅地化が進み公園整備に必要な土地の確保が、困難になることを危惧し、市へ要望することにしました。

市内の市街化区域で公園がない、いわゆる“公園空白地”が11地区あり、市の方針を変え、これらの地区で一定要件をクリアした地域に、街区公園の設置をしていただけることになりました。堀口公園は、その第1号として、整備が進められました。

用地確保のための地権者交渉は、市と協議しながら、自治会の責任で進めました。また、遊具は地域の子供たちが選定。樹齢400年の山桜を残し、地域の意向に即した特色ある公園が完成しました。また、芝張り作業は、約200人の地域住民が行い、今後の除草作業なども、地域で行います。すべて行政に依存するのではなく、地域ができることは、自分たちの力で。



オープンセレモニーには多くの方が参加しました

平成30年度 自治研修懇話会 情報交換会

1月29日(火) ホテルクリスタルパレスにおいて、平成30年度自治研修懇話会情報交換会が開催されました。第一部では埼玉県上尾市尾山台自治会会長 尾上道雄氏による「高齢化と自治会活動の活性化」についての講演がありました。世帯数1,760戸のマンモス団地での自治会、社協支部、NPOの取り組みについての説明がありました。

第二部では「将来に向けた自治運営のあり方、自治会の高齢者対策、自治会間の連携や課題の情報交換」をテーマに事前アンケートを行い、問題点および対策が同様の自治会同士が10班に分かれ、グループディスカッションが行われました。それぞれの問題点を発表し合い、これからの自治運営について白熱した議論が交され、有意義な情報交換会となりました。



自治会トピックス

三世代交流レクリエーション大会 一中地区

6月16日(日)に石川運動ひろばで三世代交流レクリエーション大会が開催されました。この大会は、住民の健康づくりとふれあいを広めるため毎年行われています。

前日の雨も上がり、初夏の強い日差しの中で、グラウンドゴルフと輪投げ、ペタンクの三競技に、子供からお年寄りまで多くの方が参加しました。参加者は丁寧に管理された芝生の上で、真剣にまた同伴者を思いやりながら楽しくプレーし、心地よい汗を流していました。



より快適な生活環境づくり 高野宿

ふだん、何気ない日常生活のなかで、お近くの集積所で家庭ごみの散乱を目にしたことはありませんか。

以前は、ネットを覆うだけで、ごみの出し方の悪さからカラスや猫等による散乱、異臭などが発生し、その都度片付けに苦慮していたものです。

会員の皆様の生活環境改善の取組み強化の一環として、ごみ集積所を集約し、大型化を6ヶ所計画し、出す方も回収業者も、その双方が、スムーズに行動できるように設営したところ、好評の声をいただいています。

今後も、より快適な区域を目指し活動してまいります。



サロン活動 柳沢美田多

サロン「一汁一菜」が発足して3年目になります。いきいき健康体操と自然の食材での創作料理を活動テーマに毎月第2、第4火曜日にコミュニティセンター柳沢館で活動を実施しています。

体操では認知予防体操やいきいき健康体操など筋肉や関節の動きを認識しながら体を動かします。

6月18日(火)に湊公園ふれあい館で料理を行ない、白玉とうふだんごや羊かんを作りました。

今後も活動の輪が広がる様、支援していきいたいと思います。



地域の安全のために 柳が丘

会員の自主的な活動で行われていた防犯パトロールを、平成17年度から自治会が引き継いで続けています。月～金曜日の昼間と、月・水・金曜日の夜、合わせて週8回、地区内を40分間程巡回する形で実施しています。

防犯委員会を設け活動を取りまとめていますが、参加は全員の自由意志によるものです。ウォーキングによる健康管理への意識もあって、毎回10人以上の参加を得ています。地区内を網羅した巡回のコース、頻度、参加者の自主性等が充実した活動を支え、永年にわたり、地域の安全に大いに寄与しているものと思われま。



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

個人益か公共益か。あなたはどちら優先派ですか。資源回収の話です。

スーパーや新聞店での古紙回収は個人への利益還元、自治会の資源回収は市からの補助金の形で地域・公共益への還元。どちらを選びますか。

資源ごみが本当に活かされる方向を考えてみてください。

皆様からのご意見を尊重し、今号から「連合会だより」は左綴じになりました。これからも親しまれる広報紙を目指してまいります。皆様のご意見をお待ちしています。(連合会広報委員会)

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/4/5/index.html>